

# はじめの一步①

2015年8月9日(日) ~ 10日(月)

I N 西宮市立甲山自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設までハイキング	川遊び	キャンプファイヤー
2日目	野外炊飯	清掃・下山・解散	

一日目： この夏最も多い、参加者、リーダー合わせて約80名が仁川駅へ集まり、甲山森林公園へのハイキングからキャンプが始まりました。荷物の重さもありますが、それ以上に暑さが体力を奪います。何度か休憩をはさみ、ようやくゴールの噴水広場に到着することができました。昼食後施設まで移動し、着替えを済ませると早速川遊びへ出発です。この日はとても暑く絶好の川遊び日和となり、腰まで水に浸かったり、ワニのように泳いだり、とても気持ちよさそうでした。グループの友達と手を取り合う姿もあり、川遊びの時間でグループのメンバーとの距離がぐっと縮まりました。施設に戻り着替えた後は、少し気持ちを切り替えて施設での約束や布団の敷き方を確認しました。夕食は苦手な食べ物に苦戦するメンバーもいれば、ご飯をおかわりするメンバーもあり、一人一人食べるスピードに差はありましたが、グループみんなが食べ終わるまで静かに待っていました。一日目最後の外でのプログラムは、みんなが楽しみにしていたキャンプファイヤーです。人数が多いということもあり、ゲームもダンスも大いに盛り上がり元気な声がキャンプ場に響き渡っていました。盛りだくさんな一日の疲れからか、入浴後布団に入り電気を消すと、みんなぐっすり眠っていました。



二日目： 朝は目覚めが良く、起床時間とともに準備を始めていました。二日目には野外炊飯があり、朝食時からその話題で持ちきりでした。朝食後には荷物整理と施設の清掃を丁寧に行い、清掃を終えたグループから野外炊飯で使う器材をキャンプ場へと運びました。まずはお米・カレー・かまどの3つの係りに分かれ、それぞれに説明を聞きました。お米係は水の量によってお米のおいしさが変わると知り、とても慎重に水を計っていました。カレー係は色々話し合い、工夫しながら野菜を切っていました。かまど係りは火が点かなければ料理ができない為素早く枝を拾い、必死に火おこしをしていました。どの係りにも初めてのメンバーが多く難しいところは同じ係りの友達と確認しながら進めていきました。調理終盤にはみんながかまどの前に集まり、出来上りを待つ姿が印象的でした。完成すると素早く盛り付け、笑顔で頬張っていました。お腹いっぱいになった後は片付けです。すすだらけのお鍋や飯盒など洗い物の量に気持ちが途切れてしまうメンバーもいましたが、自分にできる役割を見つけ懸命に取り組んでいました。真っ黒な飯盒を一人で洗い上げる強者も現れ、グループのみんなからとても感謝され嬉しそうでした。キャンプ場も元通りきれいにし、施設を出発する時間になりました。帰りの道のりは疲れた表情も見えましたが、行きより歩きやすい気候となり最後の最後まで笑いの絶えないキャンプとなりました。



## <キャンプ総括>

はじめの一步①は今年のTOPサマーキャンプで最多人数となり、そして天候にも恵まれた為メンバーも常にテンションが高く賑やかなキャンプでした。家族から離れて一人でのお泊まり、野外炊飯、全ての活動の準備と片付けなど、様々な初めてのことがこのキャンプには溢れていました。初めてだからこそ「できないかもしれない…」という不安が大きかったり、やり方が難しく時間がかかったりすることもありました。しかし、どの場面でも「やってみよう！」という想いで取り組む姿が見られ、一人一人の強い想いがキャンプを活気づけていました。また初めて挑戦したことが達成でき「もっと！」と次へ向かうパワーは素晴らしく、今回のキャンプでの経験を普段の生活にも繋げていってほしいと感じました。(生本 ひろみ)